

## 学位論文要旨の掲載にあたって

筑波大学『経済学論集』では、筑波大学大学院人文社会科学研究科において博士（経済学）の学位を取得された研究者の論文要旨を掲載しています。

本号には、2011 年度に学位を取得された西原宏氏（福岡大学経済学部教授）の要旨を掲載させていただきます。

西原氏は、論文「非協力行動の観察可能性による社会的ジレンマの解消について」により、2012 年 3 月に学位を取得されました。同論文は、プレイヤー間の協力行動が観察されず、非協力行動が観察される状況を設定し、同状況下での社会的ジレンマ解消の可能性を考察したものです。その結果、一定の条件が満たされれば、全員または一部のプレイヤーによる協力がナッシュ均衡によって実現し、理論的には社会的ジレンマが回避されることを明らかにしています。氏の御研究のさらなる発展を祈念いたします。

なお、筑波大学大学院人文社会科学研究科では、提出論文の研究領域を専門とする本学他研究科あるいは他大学の先生方に外部委員として論文審査に加わっていただいています。この度の審査においては、戸田学教授（早稲田大学社会科学総合学院）に委員をお願いしました。ここに記して感謝の意を表させていただきます。

来年度以降も、多くの方が、本研究科に優れた学位論文を提出され、博士（経済学）の学位を取得されることを願っております。

2013 年 3 月

経済学論集編集委員

平 沢 照 雄